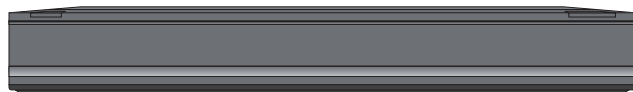


## 取扱説明書 CATV デジタル セットトップボックス

品番 TZ-BDT910M  
TZ-BDT910F  
TZ-BDT910P

ダウンロードによる  
ソフトウェア  
バージョンアップ

### 変更点 説明書



このたびは、ケーブルテレビ局にご加入くださいまして、まことにありがとうございました。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(207～213ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 取扱説明書は、TZ-BDT910M、TZ-BDT910F、TZ-BDT910P 共用ですが、機種により接続と設定内容が異なります。



BDXL™



Blu-ray  
3D™

e-move™



Java  
POWERED

AVCREC™

AVCHD™



HDMI

## ■ この説明書について

本機は制御ソフトの変更により操作や機能の向上が図られています。そのため以下の機能が使用できるようになりました。

- **ネットワーク接続した宅内のパソコンから録画などの遠隔操作**

この変更により、お持ちの取扱説明書とは次ページ以降の赤枠部分が異なりますのでご注意ください。

- 「→○○」の表記は、お持ちの取扱説明書の該当ページをご覧ください。

## 接続4 ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。

接続後は、ネットワーク設定(→142)と連携する機器の設定(→144～146)を行ってください。

1ヵ月の番組表を受信する(→33)	BD-Live、e-move対応のディスクを楽しむ(→60)	インターネットの情報を利用する(→104)	外出先から操作する(→145)(ブロードバンドレシーバー機能)	お部屋ジャンプリンク(DLNA)機能(→108)	ネットワークを使ってダビングする(→84)	ドアホンやセンサーカメラの映像を録画する(→102)	自宅のパソコンから録画などの操作をする(→145)(ブロードバンドレシーバー機能)
-------------------	--------------------------------	-----------------------	---------------------------------	--------------------------	-----------------------	----------------------------	---

TZ-BDT910M	ケーブルテレビ宅内線の接続が必要 (B) (本体表示窓にモデム接続ランプが点灯)	LAN ケーブルまたは無線 LAN アダプターを使ってのブロードバンド環境の接続が必要 (C D)
TZ-BDT910F		
TZ-BDT910P	LAN ケーブルまたは無線 LAN アダプターを使ってのブロードバンド環境の接続が必要 (A C)	

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりご利用いただけない場合があります。

本機のネットワーク接続方法は、ご加入のケーブルテレビ局により異なりますので設置、設定、変更などは必ずご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のケーブルテレビ局ではなくご加入のプロバイダーにご相談ください。

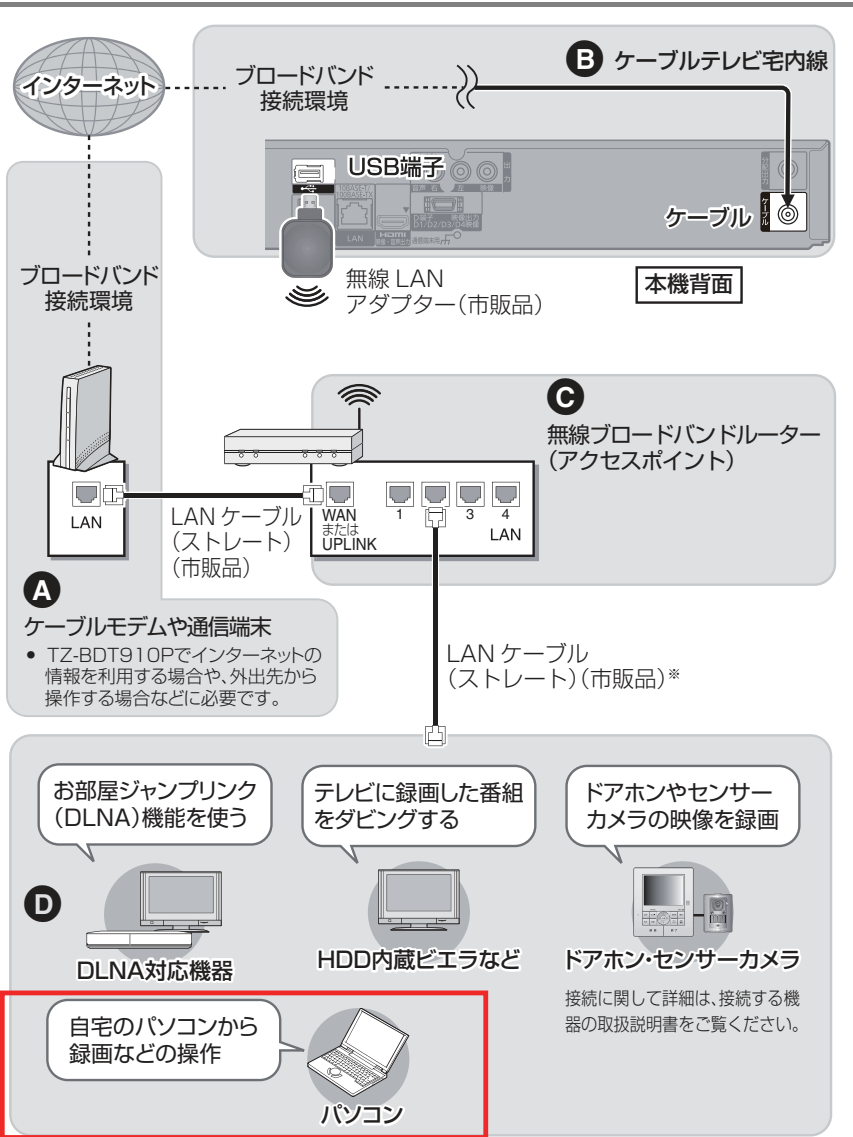
### お知らせ

- ハブやルーターを経由せず、本機と各機器を LAN ケーブルで直接接続することもできます。(LAN ケーブルはストレートとクロスどちらを使用しても問題ありません)
- カテゴリ5(CAT5)以上の LAN ケーブルのご使用をおすすめします。
- 接続機器は、本機と同じハブまたはブロードバンドルーター(アクセスポイント)に接続してください。

「※ブロードバンドレシーバー機能はTZ-BDT910Pのみ対応しています。(2011年2月現在)」の記載を削除しました。バージョンアップによりTZ-BDT910M/TZ-BDT910Fにも対応しました。



無線 LAN  
アダプター  
DY-WL10  
(市販品)を  
使って接続する  
**無線**



※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。


**お知らせ**

- 当社製無線 LAN アダプター DY-WL10 (市販品) 以外は使用できません。DY-WL10 (市販品) の取扱説明書もよくお読みください。
- スペースの都合などにより、本機背面または前面に無線 LAN アダプター DY-WL10 (市販品) を接続するのが困難な場合は、無線 LAN アダプターに付属の延長用 USB ケーブルを使って接続してください。
- 無線 LAN アダプター (市販品) を使って LAN 接続する場合は、LAN ケーブル (有線) では使用できません。
- 802.11n (2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) をお選びください。5 GHz でのご使用をおすすめします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信がとぎれたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。

## 携帯電話、パソコンと接続する ブロードバンドレシーバー設定


ブロードバンドレシーバー機能をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。

1 を押す

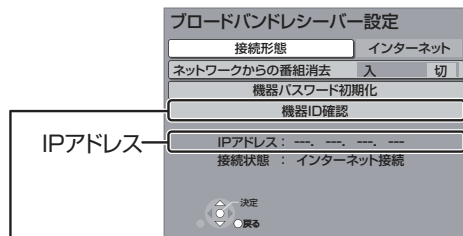
2 「その他の機能へ」を選び、を押す

3 「初期設定」を選び、を押す

4 「LAN 通信設定」を選び、を押す


5 「ブロードバンドレシーバー設定」を選び、を押す

6 「接続形態」を選び、を押す



機器 ID :

ブロードバンドレシーバー機能を使ってインターネット経由で携帯電話から操作するとき、機器を特定するための番号です。

7 「インターネット」または「家庭内ネット」を選び、を押す

インターネット: 本機を宅外 / 宅内の機器から操作する場合

家庭内ネット : 本機を宅内の機器からのみ操作する場合

8 「はい」を選び、を押す

☞ 「接続されていません」が表示されているとき  
ネットワークの接続(→127 ~ 129)、「IPアドレス / DNS 設定」(→159)を確認してください。

☞ 機器パスワードを初期化するには

- ① 手順5のあと「機器パスワード初期化」を選び、**[決定]**を押す
- ② 「する」を選び、**[決定]**を押す

### 自宅にあるパソコンで操作する

本機と接続したパソコンから遠隔操作ができます。パソコンを使って以下の操作を行ってください。

1 インターネット閲覧(ブラウザ)ソフトを起動させ、本機の IP アドレス(→ 左記、手順 6 で確認)をアドレス欄に入力する

- ログイン画面が表示されます。

2 機器パスワードを入力し、「確定」をクリックする

- 初めてログインするときはパスワードが未設定です。ここで設定してください。以降のログイン時は、設定したパスワードを入力します。
- サービスの機器登録で設定済みの機器パスワードをお持ちの方は、それと同じパスワードを入力してください。

3 操作内容を選ぶ

- 各操作は画面の指示に従ってください。



番組編集 HDD 番組の番組名入力や消去

- 消去する場合は、「ネットワークからの番組消去」を「入」にしてください。


レコーダー操作 本機の録画、電源入/切など

ヘルプ 操作方法などの説明

ログアウト 操作の終了

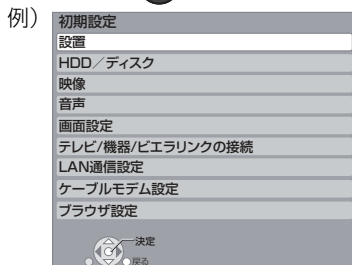
# 本機の設定を変える(初期設定)

1 を押す

2 「その他の機能へ」を選び、を押す

3 「初期設定」を選び、を押す

4 初期設定の項目を選び、を押す



5 設定項目を選び、を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 設定内容を変更する

## お知らせ

- 操作方法が異なる場合は、画面の指示に従ってください。
- 録画中に設定することはできません。

## 設置

### 自動電源(切)

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。

時間を設定すると、本機の動作(録画やダビングなど)が終了してから3時間後、6時間後または12時間後に、電源が切れます。

リモコンモード(→141)

### 音声ガイドの設定

番組表の内容や録画一覧、選局時、エラーメッセージなどを音声や操作音でお知らせします。

- 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。
- 「音声ガイド機能」を「入」に設定すると、「デジタル出力」(→155)は自動的に「PCM」になります。「切」に戻しても「PCM」のままです
- DV入力の場合は、出力されません。

### 音声ガイド機能

### 読み上げ音量

### 読み上げ速度

### クイックスタート

電源「切」状態からの起動を高速化します。

- テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。
- 「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。
  - ・待機時消費電力が増えます。
  - ・本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ(1週間に一度程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。)
  - ・テレビとHDMI端子で接続時は、テレビの無信号自動オフ機能が動かない場合があります。
- 「切」にすると、待機時消費電力は減りますが、起動に時間がかかるようになります。
- 以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」になります。
  - ・「接続形態」(→159):「インターネット」または「家庭内ネット」
  - ・「お部屋ジャンプリンク機能」(→159):「入」
  - ・「ドアホン・センサーカメラ接続」(→159):「入」



## IP アドレス /DNS 設定

### 接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

- ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス /DNS 設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
- 「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
- 「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

### IP アドレス自動取得

通常は「する」を選んでおいてください。

### IP アドレス

#### サブネットマスク

#### ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP \*サーバー機能がない場合、ルーターのDHCPサーバー機能を「有効」にしていなくてのみ設定してください。

- 「IP アドレス自動取得」(→上記)を「しない」にしたあと設定します。
  - パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。
  - LAN通信設定のIPアドレスには、ケーブルモデム設定のIPアドレスと異なるIPアドレスグループの設定が必要です。
- ※ サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

### DNS-IP 自動取得

通常は「する」を選んでおいてください。

### プライマリ DNS

### セカンダリ DNS

手動で「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 「DNS-IP 自動取得」(→上記)を「しない」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリDNS」にはパソコンの「代替DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

## MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

表示される番号は、「LAN接続形態」(→158)の設定によって、以下のようになります。

- 「有線」:背面のLAN 端子に割り当てられた番号
- 「無線」: 当社製無線 LAN アダプター(DY-WL10) (市販品)に割り当てられた番号

## ブロードバンドレシーバー設定 (→145)

### 接続形態

- 「インターネット」「**家庭内ネット**」にすると、「クイックスタート」(→152)は自動的に「入」になります。

### ネットワークからの番組消去

### 機器パスワード初期化

### 機器 ID 確認

## お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定 (→144)

### お部屋ジャンプリンク機能

- 「入」にすると、「クイックスタート」(→152)は自動的に「入」になります。

### 本機の名称

### アクセス許可方法

### 機器一覧

## ドアホン・センサーカメラの接続設定 (→146)

### ドアホン・センサーカメラ接続

- 「入」にすると、「クイックスタート」(→152)は自動的に「入」になります。

### ドアホン録画

### センサーカメラ録画

### 機器一覧